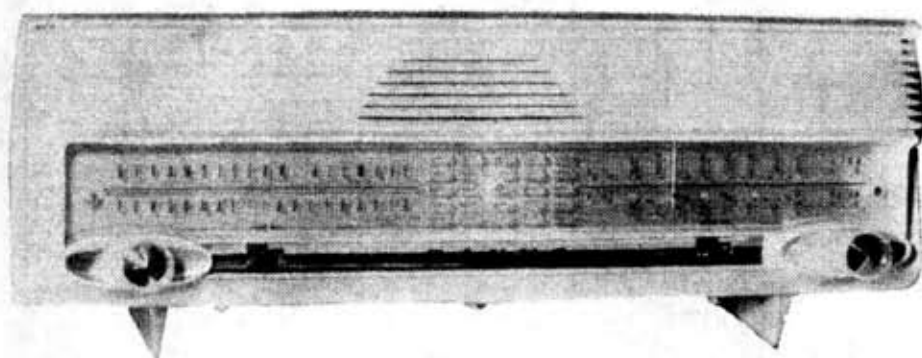


# サンヨー 6石2Band 6s-T27形



## 回路構成

2バンド、6石、3ダイオードで、局部発振回路は自励である。ダイオードのうち、通常の検波、AVCのほか、1本は発振電圧制御に、そしてもう1本は遅延AVCに使っているが特徴。

短波帯は、3.8~12 Mcで、フェライト・コアつき。

スピーカは9.5センチ円形で大きく音質補償は切換え式。電源は単一6V。

## 測定結果

感度特性は、中波帯でS/N30 dBのとき63 dB前後だから、6石としては良好である。しかも、感度差が2dB前後だからきわめて小さく、調整がよくとれていることがわかる。

短波帯は、中波とほぼ同程度の特徴となつている。

出力は、無ひずみで220 mWあり、卓上形としても十分である。

ある。

妨害は、イメージのカーブが変わっているが、中間周波同様結果はよい。

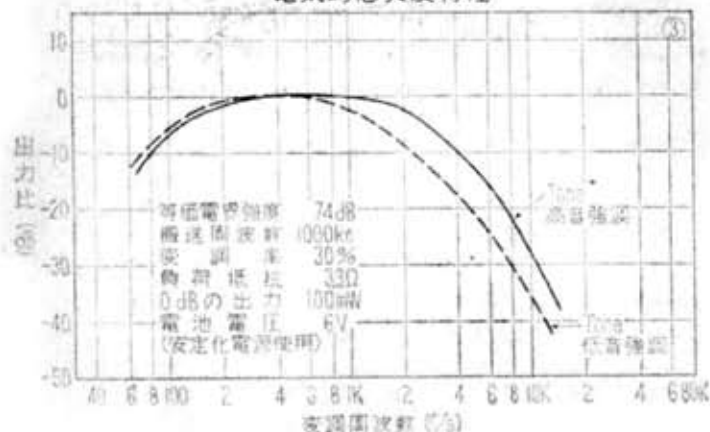
選択度特性は左右等少し不釣合であるが、通過帯域幅は1000 kcにて7.4kcあつて実用上十分である。

ひずみは、中信号(74 dB)を入れたときで3% (出力50mW)であるから、悪くない。

電氣的忠実度は、ふつうであるが、トランジスタラジオも、このくらい大形になると、家庭用としては十分な音質が楽しめる。

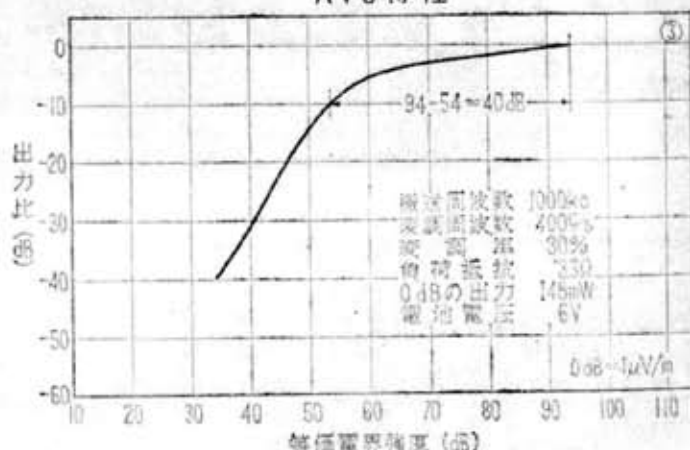
AVCは40 dBあり、よくきいている。AVC特性は、ひよつとすると見逃されるものであるが、ビルの立ちならぶ大都会や、最近各地に眠わつている団地では、重要なファクターとなる

電氣的忠実度特性



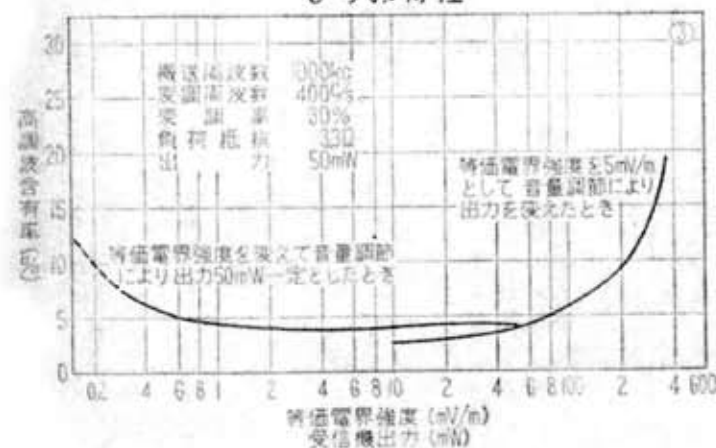
(第1図)

AVC特性



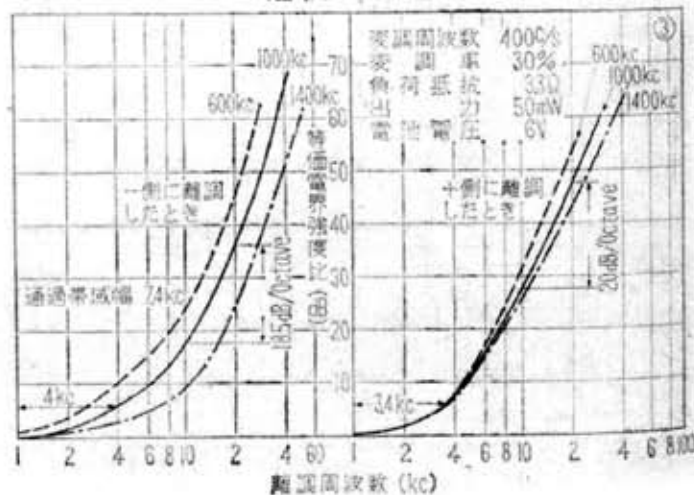
(第2図)

ひずみ特性



(第3図)

選択度特性



(第4図)

